

## 会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和7年度 第2回近江八幡市青少年問題協議会		
開催日時	令和8年2月9日（月）10:00～11:30		
開催場所	近江八幡市役所 3階 特別会議室1		
出席者 会長 ◎ 副会長 ○	<委員> 小西理委員◎ 安田委員○ 小川哲委員 田中委員 太田委員 清水委員 宮川委員 北居委員 大橋委員 畷本委員 八川委員 葛島委員  （欠席）柳生委員 中川委員 小西勉委員 大澤委員 岡谷委員 小川ゆかり委員  <報告者・事務局> （報告者） 近江八幡警察署 小川生活安全課長 近江八幡・竜王少年センター 田中所長 近江八幡教育委員会学校教育課 清水指導主事 （事務局） 清水、田中、岡川、万野		
次回開催予定日	未定		
問い合わせ先	所属名・担当者名： 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 万野 電話番号：0748-36-5533 FAX番号：0748-36-5565 メールアドレス：045000@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録・ <b>要約</b>	要約した理由	内容が整理され、記録として残すことに適しているため

担当課⇒総務課

<p>会長</p>	<p>1. 開会</p> <p>2. 開会挨拶（会長）          青少年の未来、健全な育ちに対し、日頃よりご尽力いただき、改めて御礼を申し上げます。本日は、青少年を取り巻く環境などについて意見交換し、より良い対応を議論できればと思います。</p> <p>3. 議事（報告・協議・意見交流）〈各機関・団体から報告〉          (1) 青少年に関わる問題の実態について（意見交流等）          ①近江八幡警察署生活安全課          ②近江八幡・竜王少年センター          ③教育委員会（学校教育課）          ④子ども健康部          ⑤子ども・若者相談窓口</p>
<p>会長</p>	<p>それぞれの機関から現状について、ご報告いただきました。これらの報告について、それぞれの立場からご意見等をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>いじめは基本的には犯罪だと思っています。被害者の将来に重大な影響を与えるような事案があった場合、どのように対応されていますか。</p>
<p>委員</p>	<p>仲間外れ、冷やかし、からかい、SNSでの問題など色々ありますが、受け止めた側がいじめと感じ取った時点で、いじめと認定しています。加害者側、被害者側の両方からその行為に及ぶまでの背景も丁寧に聞き取っています。問題の大きい、小さいに関わらず、いじめがあれば同じ捉え方で、委員会を立ち上げて、学校全体で共有して対応しています。</p>
<p>委員</p>	<p>就学前教育における集団生活の経験の減少が不登校に繋がっているという説明ですが、本当にそこに原因があるのか気になります。暴力行為の問題については、生活実態や社会環境などにも触れられるべきと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>本来、学年が上がるにつれ不登校が増加する傾向にありますが、最近では低学年での不登校も増えています。現在の低学年は、乳幼児期での集団生活の経験がコロナ禍のため少なく、相手の気持ちを理解したり、自分の思いを伝えたりという人間関係づくりに難しさを感じている児童が増えていると考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>不登校に対するサポート「スペシャルサポートルーム」などが行われているのは、すごく感謝します。最近、暴力行為がSNSで拡散した問題が報道されていましたが、小学校の低学年でも先生に対する暴力が増えていると聞いています。また、児童虐待の報告の中で、小学校と中学校の通告件数に開きがありますが、何が起きているのかなと疑問に思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>改めて、小学校・中学校に対して暴力行為に関するアンケートをする予定です。虐待件数については、学校からの報告件数を集計していますが、今後、検証していきます。</p>
<p>委員</p>	<p>有害図書等の回収数が減ったという報告ですが、今は、スマホで見れてしまう状態になっていて、子どもたちは、多分パナーなどで、目に触れる機会は増えていると思います。問題行動に対する保護者の協力が得られないという報告もありましたが、理解していただけない保護者が本当に増えているという印象があります。中学校のジャージを着て投稿しているSNSも見たりしていて、本当に危険なことなんだと伝わるようにできれば良いなと思います。</p>

委員	<p>中学校では年1回スマホ教室を開催していますが、なかなか理解が深まらないと思いますので、その都度、何度も開催していくことが大事だと思います。小学校でも高学年を中心に積極的に開催していく必要があると感じています。</p>
副会長	<p>保護者に対する課題がたくさん出てきましたが、家庭状況や社会構造に基づく困難さを考えたとき、来年度、家庭教育に施策を直接打つようなことができないかと考えています。小学生に育ててほしい姿、中学生に育ててほしい姿を共有しながら、子どもさんとともに育っていく保護者の姿も、ご意見を聞きながら共有できればと考えています。学校教育、家庭教育の両輪で、地域、家庭、保護者の皆さんと一緒に子どもたちを育てていく取組ができればと思っています。</p> <p>もう一方で、興味関心をしっかりと伴走支援して、若者の自立、就職、起業、社会参画を支援していこうという取組を今年度から始めています。こういったことも含めて、関係者の皆さんと一体となって、子どもや若者の健全な育成に取り組んでいきたいと思っています。</p>
	<p>(2) 子ども・若者育成支援について（報告）</p> <p>①子ども・若者育成支援事業について</p>
会長	<p>子ども・若者の支援プロジェクトが進行しているという報告ですが、ご意見等をお願いします。</p>
委員	<p>子どもたち、若者たちを捉えたとき、人の命の輝きをどう取り戻すかということが大事だと思っています。一人ひとりの命が輝くまちが近江八幡なんだという形で、それぞれの分野で取組みができればと思います。</p> <p>4. その他（連絡事項）</p> <p>5. 閉会</p>